

消防団改革

時代に即した持続可能な消防団へ



田村市消防団は、時代に即した持続可能な消防団を目指し、消防団幹部で組織する「消防団の在り方検討会」で団員の処遇改善のため、大きな負担となっていた消防操法大会の廃止を決めたほか、消防団会計のルール作りや消防行事の見直しなどを進めています。市も団員報酬や出動手当の見直しなど、処遇改善に向けて検討を進めています。

☎市民部 生活安全課 ☎82-1116

ここが変わった消防団

	旧	新
消防操法大会	大会出場のための早朝、夜間の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・市の大会を廃止。上位の大会へも不参加 ・競技性のない独自の操法要領を作成し、消火技術を維持
消防団会計	地区隊、分団、部や班でそれぞれの方法で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理を透明化するため、統一のルールを作成 ・過度な会費徴収や反省会への強制参加についても禁止
行事の統合・廃止、内容の見直し	消防団全体の行事のほかに地区隊ごとにも実施	<ul style="list-style-type: none"> ・出初式の一本化 ・秋季検閲式の廃止 ・検閲式の内容変更や時間短縮など



消防団員インタビュー

山口 修平さん
(船引地区隊第4分団 第1部班長 在籍16年目)



遠藤 美幸さん
(常葉地区隊庶務分団 女性部団員 在籍11年目)

Q 消防操法大会欠場の影響は?
A 大会に出場することで体力・時間制約など負担はありましたが、操法の経験が有事の際、大きな自信になりました。一方で、若手団員の負担軽減になっている面は良いと思います。

Q 消防団にこれから変えてほしいことは?
A 消防団に入団しているからこそそのメリット等をアピールすることが大切だと感じています。メリットの拡充や各方面へのPRを期待したいです。

Q 山口さんにとって、消防団とは?
A 「何事も楽しくやること」を大切にしています。子供に「お父さん消防団でかっこいい」と憧れてもらえる存在でいられるよう頑張っていきたいです。

Q 入団したきっかけは?
A 前々部長に誘われて入団しました。父も消防団員だったことや、職場に元女性消防団員の方がいて、あまり不安はなく軽い気持ちで入りました。

Q 入団して良かったことは?
A 講習会で救命救急の知識などを学べることです。いざという時に自分の身近な人を助ける力になると思います。

Q 消防活動が仕事や子育てに与える影響は?
A 新しい人間関係が広がるので、人生の先輩方に育児のことなど相談に乗ってもらっています。また、活動に参加することで、家事や育児の息抜きになることもあります。



ふれあい防災2024



10月6日、田村市運動公園で「ふれあい防災2024」を実施しました。「参加体験型」のイベントとして住民や関連企業、各団体などから約3千人が参加し、各種体験コーナーや防災に関する展示を通じ、知識や意識を高める一日となりました。



たむら

市政だより

2024年11月号・目次

- 2 **特集** ふれあい防災2024
- 4 **特集** 子育てを笑顔いっぱい。にこたむ fes.レポート
- 6 **特集** 連載(下)高齢者の移動手段を考えませんか?
- 8 自動運転バス実証運行の結果について
- 10 たむらホットニュース
- 22 暮らしの情報案内板
- 28 各施設の催しなど
- 30 ほけんだより

市の募集・申請に関する各記事の共通事項

☎問い合わせ ☎申し込み先
市への申込・書類提出について明記していないものは、期間中の土・日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで

参加者の声 滝根小学校6年

竹前 瑠生さん
心臓マッサージは、深くしっかりやるのがとても大変でした。

遠藤 翼さん
地震体験に参加し、震度6になると揺れが激しく、怖いことを学びました。

佐藤 優斗さん
もし災害が起きた時、大人がいなくてもできることが増えました。

